

令和8年度 新川みどり野高校 年間指導計画(シラバス)

学科	教科	科目(講座名)	科目番号	単位数	教科書	使用教材
普通科・福祉教科	家庭	家庭基礎	全	2	新家庭基礎 気づく力 強く 未来(実教出版)	新家庭基礎 気づく力 強く 未来 学習ノート(実教出版)
学習の到達目標	・人間の生活にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 ・家庭や地域及び社会における生活の中から課題を見いだして課題を設定、解決策を構想・実践、考察するなど、生活を見通して生活の課題を解決する力を養う。 ・様々な人々と協働し、地球社会に参画しようとするともに、自分や家庭、地球の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。					
学期	月	単元	学習内容		到達度目標(学習のねらい)	
前期	4月	第1章 自分らしい生き方と家族	1節 自分の未来予想を描こう～生涯発達と発達課題～	・ライフステージごとの特徴・課題を理解する。 ・自分の特徴や長所に基づき、人生を構築できるようにする。 ・人生設計に必要な要素を理解する。 ・自分の将来とこれからの社会について考えることができるようになる。	・自立の理解とそれぞれの具体的な内容を把握する。 ・男女共同参画社会の実現をめざす多岐と社会的責務について理解し、どのような青年期を生きるかを考えることができるようになる。 ・労働の理解、またその意義について多面的に検討できるようにする。 ・労働を支える社会や地球のしくみを知ることで、私たちがその一員であるという自覚を持つことができるようになる。	
			2節 自立と共生	・結婚・家族・家庭の意義や機能について理解する。 ・時代とともに変化する家族・家庭について学習し、現在の家族の抱える課題などを理解する。		
			3節 ライフキャリアを見つめ直す			
			4節 共に生きる家族			
			5節 家族に関する法律			
	5月	第2章 子どもとかわる	1節 子どもとは	・育児や学童意識について理解する。 ・10代の成長が、将来生まれてくる子どもにながっていることを理解する。 ・子どもの世界と出会うことによって、自己理解を深める。	・子どもの誕生、子ども心身の発達と特徴について理解する。 ・子どもは、親や保育者などの身近な大人とのかかわりあいのなかで発達していくことを理解する。	
			2節 子どもの発達			
			3節 子どもの生活			
			4節 子どもをはくむ			
			5節 子どものための社会福祉			
	6月	第3章 高齢者とかわる	1節 高齢社会に生きる	・高齢者、高齢社会への理解を世界の動向からも深める。	・高齢者の心身の特徴や生活を客観的に理解する。 ・高齢期の心身の老化による生活行動の不安に気づき、改善をする。	
			2節 高齢者を知る			
			3節 高齢者の自立を支える			
			4節 高齢社会を支えるしくみ			
	7月	第4章 社会とかわる	1節 支えあって生きる	・個人や家庭生活を支える社会保障制度や社会福祉についての重要性を理解する。 ・将来に向けた課題に気づく。	・支えあふ社会の大切さやボランティア活動を理解し、ボランティア活動に興味・関心を持つようになり、実際の活動につなげる。	
			2節 共生社会を生きて			
	7月	第5章 食生活をつくる	1節 日本の食文化の形成	・日本の食文化の成り立ちを理解する。 ・和食の特徴を理解する。	・自身の食生活の現状把握と今後の課題を理解する。 ・健康で豊かな食生活はくむための気づきや工夫を理解する。	
			2節 私たちの食生活			
			3節 栄養と食生活のかかわり			
			4節 食品の選び方と安全			
5節 食生活の計画と調理						
9月	第6章 食生活をつくる	ホームプロジェクト	ホームプロジェクト	・生活の中で、よりよく暮らすための解決方法を考える。		
		6節 これからの食生活を考える	・日本の食料自給率の現状を理解する。 ・日本の食糧事情を解決するためにできることをみつめる。 ・情報に惑わされることがなく安全な食品を選択できるようにする。 ・食の安全と環境に配慮した食生活を送ることができるようになる。			
10月	第7章 衣生活をつくる	1節 人と衣服のかかわり	・人はなぜ衣服を着るのかを理解する。 ・衣服が持つ機能や安全面についての知識を身につける。 ・たまたま快適な生活を送るための要因を理解する。	・衣服素材の種類・繊維の種類と特徴、衣服素材の性能について理解し、用途に応じた素材の選択ができるようになる。 ・衣服の加工技術について理解する。		
		2節 衣服の素材の種類と特徴				
		3節 衣服の選択から管理まで				
		4節 持続可能な衣生活をつくる				
		5節 衣服の構造・デザイン				
11月	第7章 住生活をつくる	1節 人間と住まい	・住まいはどのような機能をもち、人の生活がその機能とどうかわっているかを理解する。	・日本の伝統的な住居の、建築的な工夫や暮らしの工夫を見つける。 ・日本の住まいの整理、生活様式などを理解する。		
		2節 住まいの文化				
		3節 住まいを計画する				
		4節 健康に配慮した快適な室内環境				
		5節 安全な住まい				
		6節 持続可能な住まいづくり				
12月	第8章 消費行動を考える	1節 消費行動と意思決定	・消費行動において、意思決定のプロセスが重要であることを認識する。 ・情報リテラシーを身につける大切さを理解する。	・契約・多様な販売方法や支払方法、問題解決法について理解する。また、被害にあった場合の解決方法についても理解する。		
		2節 消費生活の現状と課題				
		3節 消費者の権利と責任				
		4節 ライフスタイルと環境				
1月	第9章 経済的に自立する	1節 暮らしと経済	・家庭経済を国民経済、国際経済の関連性に基づき、家庭の収入や支出、消費生活の必要性について理解する。	・生活設計とかわらせて、長期的経済設計の必要性について理解する。		
		2節 将来のライフプランニング				
2月	生活設計	生活設計	・家庭基礎で学んだことを元に、具体的な人生設計をする。 ・仕事をめぐらえて、大事にしたいことはなにかを考える。			